

地域創生戦略関係事業実施状況1（地方創生推進交付金対象事業）

今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業

事業目的

「精華町地域創生戦略」の基本目標に基づき、地元産品・観光のブランド力強化に向け、「お茶の京都」事業との連携を図り、川西観光毎園の閉園後における、観光農業の再生を目指し、本町の特産品のいちごを活用した体験型観光農園の継続支援や特産化を目指し種々取り組みを進めている「洛いも」の商品化の支援など、観光農業の推進に取り組む。

事業結果概要

精華町地域創生戦略に基づくシティプロモーションの一環とし、観光農業の推進に取り組んだ。

(1) 体験型観光農業商品開発事業(対象:苺生産団体)

実施内容・目的:地域ブランド力強化を図るため、苺を活用した体験型観光農業商品開発に伴う事業に必要な経費を助成。(助成件数:2件)

(2) 特産加工品開発事業(対象:洛いも生産団体)

実施内容・目的:地域ブランド力強化を図るため、洛いもを活用した特産加工品開発等に伴う事業に必要な経費を助成。(助成件数:1件)

(3) 産業振興・観光振興に向けた調査分析および統計・行政情報等のオープンデータ化に向けた検討業務委託

実施内容・目的:企画調整課と共同で、精華町の経済と産業の現状分析から産業振興・観光振興に向けた提案、農業や地域産品を活かした産業・観光振興の提案など幅広く調査分析を行うとともに行政情報のオープンデータ化に向けた検討を行った。

(4) 「お茶の京都」事業（京都府南部広域観光振興）連携

実施内容・お茶の京都博実行委員会及びお茶の京都DMOと連携し事業を行った。

事業成果

苺を活用した体験型観光農園及び洛いも生産団体の活動支援を行うことで観光・地元産品のブランド力強化を図ることができた。精華町の経済と産業の現状分析を行い、産業振興・観光振興の可能性を確認すると共に農業や地域産品を活かした産業・観光振興の調査等ができた。お茶の京都博について京都府と連携し、日本遺産サミットを行い全国から22,000人を集客する他、お茶の京都DMOにより広域観光プランの事業化などを行った。

事業決算額

31,809,317円（交付金充当15,904,657円）

主な経費

・お茶の京都DMO分担金：2,600,000円、・お茶の京都博分担金：2,400,000円、・観光農業推進事業補助金：12,901,879円、・産業振興・観光振興に向けた調査分析：6,984,360円、・一坪茶室制作業務委託：1,235,947円、・日本遺産サミットブース出展委託費用：2,000,000円 など

今後の課題・展開等

観光農業を軸とした誘客の拡大を図るため継続的な支援が必要であり、戦略的展開のための基礎調査をベースに、次の施策を展開の検討が必要となる。地域資源を生かした観光農業を推進するには地元産品の販売力向上と販路拡大が必要である。地域ブランド力の強化に向けて引き続き支援を行う。精華町観光農業の戦略的展開のための基礎調査を活用し、観光施策展開の具体化を図る。



地域創生戦略関係事業実施状況2（地方創生推進交付金対象事業）

京都アカデミック産業創造事業

事業目的

国の地方創生推進交付金の対象事業として、文化庁の京都移転決定を契機とした、京都府による映画やマンガなどの新たな文化産業の形成に向けた海外・国内への魅力発信・観光産業の振興の取り組みと広域的に連携し、学研都市における新たな文化創造に向けたサブカルチャー振興の事業を展開する。

事業結果概要

京都精華大学等の大学機関や企業と連携するなどして、「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの推進やサブカルチャーに関するクリエイター支援に関する取組みを行い、「精華町地域創生戦略」に基づくシティプロモーションの推進を図った。

- 大学機関や企業との連携によるコンソーシアムの結成及び活動環境の整備
- 学生や社会人によるワークショップやハッカソンの開催
- 首都圏でのサブカルチャー関係イベント等における町広報キャラクター「京町セイカ」を活用した「学研都市精華町」のPR活動
- 科学体験フェスティバル等の「科学のまちの子どもたち」プロジェクトを通じた魅力発信
- 地元金融機関との連携による精華町の人口、産業、経済に関する動向分析や、観光農業、サブカルチャー振興に関する調査の実施
- 台湾人のプロガーやコスプレイヤーの招致等のインバウンドを意識した情報発信
- 「まっぶるぶらりまち歩き京都精華町」を活用した誘客拡大の取組み
- けいはんな学研都市活性化促進協議会を通じて、文化・学術両面でのけいはんな学研都市の交流活性化を促進

事業成果

- コンソーシアム結成により、産官学の連携による「科学のまちの子どもたち」プロジェクト及びサブカルチャー振興の推進体制が構築できた。
- 広報キャラクターの活用やサブカルチャー振興などを通じて、全国に向けて学研都市精華町のPRや誘客拡大が図れた。
- けいはんな学研都市活性化促進協議会による各種事業により、けいはんなプラザを核とした文化・学術活動の拡大が図れた。

事業決算額

47,051,165円（交付金充当23,525,582円）

主な経費

・産業振興・観光振興に向けた調査分析：7,982,280円、SEIKAクリエイターズインキュベーションセンターICT環境整備事業：6,815,016円、SEIKAクリエイターズインキュベーション推進拠点構築業務：4,998,780円、サブカルチャー振興を活かしたインバウンド対策事業：3,499,200円、精華町サブカルチャー振興支援業務：3,132,000円、けいはんな学研都市活性化促進協議会分担金：6,500,000円 など

今後の課題・展開等

- けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)内に整備した「SEIKAクリエイターズインキュベーションセンター」を拠点とするなどして、シティプロモーションの推進に向けての施策を展開する必要がある。
- 各種団体との連携・協働を通じて、「けいはんなプラザ」のさらなる知名度向上と学研都市の活性化を促進する必要がある。



地域創生戦略関係事業実施状況3（地方創生推進交付金対象事業）

インクルーシブソサエティ（共生で賑わう社会）推進事業

事業目的

精華町地域創生戦略に基づくシティプロモーションにおける基本目標「健康・スポーツによる地域活性化」の一環として、京都府等との連携のもと、共生社会の実現に向けた環境整備のための取組を進める。

事業結果概要

精華町地域創生戦略に基づくシティプロモーションにおける基本目標「健康・スポーツによる地域活性化」の一環として、京都府等との連携のもと、共生社会の実現に向けた環境整備のための取組を進めた。

毎年、障害のある人と関係機関などがスポーツやレクリエーションを通じて互いに交流と理解を深めるために実施している「障害児者ふれあいのつどい」において、現在活躍中のパラアスリートとの交流をすることで競技そのものの楽しさや魅力を感じることやパラスポーツ（障害者スポーツ）の普及啓発も含めた障害のある人の社会参加に向けたスポーツ振興のため、車イスラグビーの実演を行った。

事業成果

障害のある人もない人もパラスポーツを通じて相互理解を深めるとともに、パラスポーツの楽しさや魅力を発信するきっかけづくりができた。

事業決算額

999,000円（交付金充当：499,500円）

主な経費

- ・精華町障害者スポーツ振興事業委託：999,000円

今後の課題・展開等

一過性のものでなく、今後、パラスポーツを継続して普及啓発できる環境づくりが必要である。



地域創生戦略関係事業実施状況4（地方創生拠点整備交付金対象事業）

サブカルチャーを軸にした創作活動支援研究拠点整備事業

事業目的

府が所有するけいはんなオープンノベーションセンター（通称KICK、旧私のしごと館）内に、大学機関等との連携によるマンガ、アニメ、CG、ゲーム等の、いわゆるサブカルチャーと呼ばれる分野を中心に創作活動を行う若手クリエイターやアマチュア創作者が自由に作業・研究・展示などができる機能を持ったサテライトオフィスのような空間を整備する。

事業結果概要

けいはんなオープンノベーションセンター(KICK)内の一部を借受け、「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの推進及びサブカルチャー等の創作活動の支援のための拠点として、「SEIKAクリエイターズインキュベーションセンター」を整備した。

【施設概要】

- 施設名称:SEIKAクリエイターズインキュベーションセンター
- 所在地:精華町精華台七丁目5番地1 けいはんなオープンノベーションセンター(KICK)内
- 施設面積:631.00㎡(1階 448.47㎡、2階 182.53㎡)
- 無線インターネット接続環境を整備

事業成果

これまで、特定の活動場所を持たなかった「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの安定した展開と、京都精華大学等との連携による創作活動支援の取組みの拠点としての活用が見込まれる。

事業決算額

29,999,700円（交付金充当：14,999,850円 起債充当：14,900,000円）

主な経費

- ・SEIKAクリエイターズインキュベーション推進拠点構築業務：29,999,700円

今後の課題・展開等

年間を通じての施設の有効活用に向けて、コンソーシアム「SEIKAクリエイターズインキュベーション推進拠点」を中心に、拠点運営を推進する必要がある。

